

ベトナムで地盤改良

17年12月期 海外売上高50億円目標

地盤の調査・改良のサムシングホールディングス(HD)が東南アジアを中心とした海外市場に進出する。10月にベトナムのホーチミンに現地法人を設立、日系デベロッパーや地元企業向けへの営業を展開、住宅や商業用地の調査、改良などの仕事を請け負う。不動産開発が進む新興国市場を開拓、海外事業で2017年12月期に50億円の売上高を目指す。



地盤改良の試験施工の様子(ベトナム)

今年3月にシンガポールに設立した海外事業子会社の傘下にベトナム現地法人を新設する計画。

▼地盤改良 建物のほか橋などの土木構造物の計画地の地盤を補強して安定させること。軟弱な地盤を土ごと取り換えた後、地中にセメントや木で杭(くい)を打ち込んで強化する。砂や

日本人の管理職や施工管理者を数人グループ内から現地に配置する。日系デベロッパーや地元企業から地質の調査や改良工事を受注し、地中に構築して軟弱な地盤を補強する「改良体」の寸法などを設計する。

地質調査や地盤改良の施工機械は数台、日本から持ち込む。現地の中堅建設会社と提携して重機オペレーターを確保。日本人の施工管理者が指示しながら現場作業を進める。

第1弾として地元の大企業や官公庁にアピールして受注拡大につなげる考えだ。

東南アジアでは経済成長に伴い住宅や商業施設の建設、市街地の再開発といった案件が拡大している。建設用地の地盤改良も需要が伸びる一方、地元業者の工事品質が低いという作業速度も遅い。

サムシングHDは日本国内で積み上げた技術が優位性を持つと判断し、調査機械などを活用した。精度を保ちながら工期を短縮できる自社開発だ。

市場開拓を急ぐ計画だ。